

# 「学んで生かすべし」

# 研修レポート



## 議会広報常任委員会編

## 町村議会議員研修編

11/21

### 群馬県町村議会 広報研修会 「議会広報の基本と編集」

場所：群馬県町村会館



議会広報サポート 芳野 政明氏

「議会だより」発行の意義・目的を明確にし、住民参加を促すために、どんなにすばらしい議会活動も、それを住民が知らなければ、評価はなきに等しいことを再認識しました。住民に議会活動が伝わるまでが「議会だより」の役目とし、これからも議会の見える化&住民との信頼関係を築いていくことが大事であると学びました。(善養寺孝)



11/22

### 群馬県町村議会 議会広報研修会 「広報クリニック」

場所：群馬県町村会館

議会広報サポート 芳野 政明氏

クリニック（診断）を希望した県内の4町村（榛東・吉岡・玉村・千代田）の議会だよりを先生に点検していただき、それぞれの議会だよりの優れた所や改善課題を学び合いました。本村議会だよりは、企画力や編集スキルが高水準で読みやすく、伝わる広報であるとお褒めの言葉をいただくとともに、住民コメントを各ページに増やすなどして、住民と議会を結び更なる工夫をするという課題もいただきました。この研修を今後の編集活動に活かして、ステップアップを目指していきます。(須田仁美)



10/17

### 北群馬郡町村議会 議員研修会

場所：榛東村南部コミュニティセンター



### 「地方議会の制度と運営について」

群馬県町村議会議長会課長 亀田 環氏

地方議会は住民による直接選挙で首長と議員を選ぶ二元代表制をとり、議員定数は各自治体の条例で定められています。令和4年7月1日現在、県内議員数270人の内訳は男性244人、女性26人です。男女平等に向けた取り組みは少しずつ広がるものの、地方議会全体に占める女性議員はまだ半数には程遠いと感じました。また、議会だよりにより本会議の流れを分かりやすく村民に伝えられる方法を考えていきたいと思いました。(波多野佐和子)



11/2

### 群馬県町村議会 議員研修

場所：吉岡町文化センター

### 「地方議員における 議会の目指すべき多様性とは」 ～議会ハラスメントの現状と対策～



上智大学法学部教授 三浦 まり氏

日本の議会における女性議員の割合は、諸外国と比較すると極めて低い水準にあります。その中でハラスメント対策は、議員一人一人の資質の向上においてかせないものになっています。日常会話の内容や行動においても各種ハラスメントに無意識無自覚のうちに行為されている場合があります。各種ハラスメントを根絶するためには、性差にとらわれず一人一人の多様性があるがままに受け止め、自分自身の言動を振り返る時間を確保することの必要性を感じました。(飯塚久夫)



### 「地域活性化とテレビ」

地域を活性化するためには、指導者が活性化のための強い信念を持ち続けることが必要であり、部下職員はその姿を見ることにより、自然と地域活性化の土壌が醸成されていきます。その際に、地方公共団体や地元のマスメディア・インターネットをうまく活用することが必要です。また、テレビドラマのロケ地の誘致など積極的に行うことにより、地域活性化が図られ、さらに経済効果も期待できます。マスメディアとの良好な関係性の構築が地域活性化のカギとなることを学びました。(飯塚久夫)



元NHK政治部記者・  
元NHK会長秘書  
三浦 元氏





# 福岡県へ視察に行きました

## おんがみらいテラス 視察研修 防災機能を兼ね備えた憩いの場『おんがみらいテラス』

場所：遠賀町



交付金を活用して建設された防災機能付きの施設があると聞き、福岡県の遠賀町へ視察研修に行きました。町の農商工と連携した販売やカフェもある誰もがふらっと立ち寄れる『ふらっとエリア』や私語厳禁で勉強や仕事に集中できるスペース、大きなホールを借りてイベントなどができる『わいわいエリア』がありました。地域子育て支援ひろば『すくすくエリア』にはユニバーサルデザイン複合遊具があり、未就学児と保護者が無料で自由に遊べます。保育士が常駐し、育児の不安や悩みも相談でき、3時間までの一時預かりも行われていました。自衛隊紹介ギャラリーは、自衛隊とのつながりの強さを感じました。屋外テラスがとても開放的でした。学んだことを本村で建設中の防災機能付き複合施設の運用に役立て、多くの村民のニーズに応えられる施設となるようにしていきたいと思えます。

(須田仁美)

## 食育交流・防災センター 視察研修 防災備蓄倉庫を兼ね備えた町内産100%で 米飯給食を提供する学校給食センター

場所：遠賀町

交付金を活用して建てた遠賀町の学校給食センターで減農薬・減化学肥料の町内産の米が週4日提供され、町内産の野菜を多く取り入れるしくみ等を研修しました。また、併設された防災備蓄倉庫では、豊富な備蓄品目と数量の多さ、見てすぐわかる整理された並べ方などを視察させて頂き、災害時の対応などを学びました。町職員や町議の方々に各施設に同行して案内していただき、私たちの質問に一つ一つ親切丁寧に答えていただいたとても充実した視察研修でした。(須田仁美)



## 航空自衛隊芦屋基地 視察研修 「国民を守るために日々訓練」

場所：航空自衛隊芦屋基地

村にある陸上自衛隊第12旅団には、ヘリコプター隊が配備されていることから、救難ヘリや国を守る戦闘機のパイロットを養成する航空自衛隊芦屋基地を研修先に選定しました。第3術科学校総務課長から基地の沿革等について説明を受け、さらに戦闘機（練習機）及び救難航空機の実機を視察し、訓練等の説明を受けました。(吉澤浩一)



## 芦屋町議会 訪問 場所：芦屋町役場

### 「芦屋町議会を表敬訪問」

本村と同じく自衛隊基地を有する芦屋町は、昨年9月27日に議会広報常任委員会の皆さまが本村へ視察研修にお越しいただいたばかりです。芦屋基地視察後に表敬訪問を行い、芦屋町の沿革及び産業と観光の現況等について丁寧に説明いただき、さらなる友好を深めました。

(吉澤浩一)

議会だより  
104号22ページ

